

2026年2月3日

一般財団法人日本情報経済社会推進協会

「Healthy Living」で医療課題解決に取り組む富士通が語る、 「Pマーク」と共創する“信頼の基盤”とは

プライバシーマーク制度を運営する一般財団法人日本情報経済社会推進協会（以下 JIPDEC）は、ダイヤモンド・オンラインにて、プライバシーマーク（Pマーク）の役割を紹介するタイアップ広告記事を公開しました。プライバシーマーク制度サイトでも全文を公開中です。

本記事では、富士通株式会社（以下 富士通）が展開する社会課題を起点とする事業モデル「Uvance（ユーバンス）」の中核領域の一つである「Healthy Living」の取り組み事例を通じて、医療 DX における“信頼の基盤”としてのプライバシーマークの重要性を分かりやすくまとめています。

▶ 公開記事を読む

[「富士通の「Healthy Living」が医療課題解決に革新をもたらす—AI×パーソナルデータによる価値創造と、
「Pマーク」と共創する“信頼の基盤”とは」](#)

機微な医療情報取り扱いに不可欠な「信頼」

医療提供体制が労働環境や経営面で危機的状況にある現在、AI による医療 DX は医療現場の崩壊を防ぐうえで重要な役割を果たします。しかし、医療現場で取り扱うデータにはさまざまな機微情報が含まれるため、情報を取り扱うソリューションや提供事業者には「安全性」だけでなく、ゆるぎない信頼が求められます。

今回公開したタイアップ広告記事では、富士通で医療・創薬領域でのパーソナルデータを用いた新たな事業開発を指揮する、グローバルソリューションビジネスグループ クロスインダストリーソリューション事業本部 VP, Healthy Living 事業部長の荒木 達樹様にご登場いただきました。記事では、日本の医療現場が抱える課題に対し、富士通がテクノロジーによってどのような変革を目指しているのか、そしてその挑戦を実現させるためにプライバシーマーク取得/維持が果たす役割の重要性をお話しいただいています。



医療機関の方はもちろん、DX ソリューションの導入を検討されている方、データ活用ビジネスに携わる方にも参考となる内容です。

さまざまな業種の取得・活用事例を公開中

プライバシーマーク公式サイトでは、企業の個人情報保護体制づくりを支援するため、以下のような情報を提供しています。

- [取得・運用に役立つセミナーや解説動画](#)
- [社内教育に活用できる資料](#)
- [さまざまな業種・規模の取得事例、インタビュー](#)

プライバシーマークの取得を検討中の方や、個人情報の取り扱いや社内体制整備に課題を感じている方は、ぜひあわせてご覧ください。



取得・運用に関するご相談はこちら

プライバシーマークの取得・運用に関する個別相談も受け付けています。

- ▶ [プライバシーマーク 事業者のための取得・運用相談室](#)

本件に関するお問い合わせ

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC） プライバシーマーク推進センター

- ▶ [お問い合わせフォーム](#)